



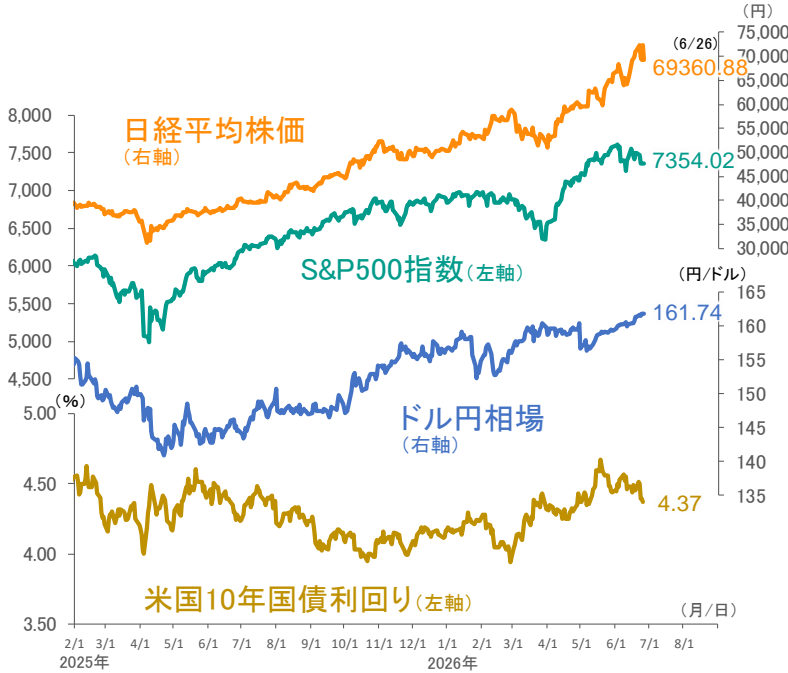
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.6.29

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、ホルムズ海峡の航行正常化を受けてWTI期近は2月末の開戦以前の低水準となる1バレル=69ドル台まで低下しました。株式市場では、イラン情勢の緊張が続く中でこれまで集中的に買われてきたAI・半導体関連株から出遅れ感のある業種への資金シフトが起こり、主要株価指数は高安マチマチの展開となりました。週間騰落率ではS&P500指数は▲2.0%、ナスダック総合指数▲4.6%、日経平均株価は▲2.7%で終わる一方、NYダウは+0.6%、英FT100指数は+1.4%と上昇しました。10年国債利回りは米国が前週末比▲8bpの4.37%、独は▲13bpの2.85%、日本は▲4bpの2.62%に低下しました。ドル円は、前週末比44銭円安の161円74銭で引けました。

今週は、米雇用統計など金融政策への影響が大きい重要経済指標の発表が相次ぎます。国内では、日銀短観6月調査で、企業の景況感や価格設定行動の変化を点検することになります。

当面の注目イベント

- ◆米・5月JOLTS(求人数) (30日)
- ◆日・6月日銀短観調査 (1日)
- ★中・6月PMI製造業景況指数 (1日)
- ◆欧・6月ユーロ圏CPI (1日)
- ★米・6月ISM製造業新規受注 (1日)
- ◆米・6月雇用統計 (2日)

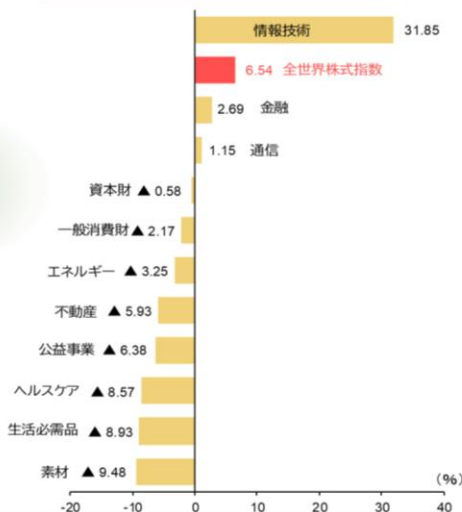
★：りそな景気先行指数関連指標

先週の世界株式市場では、これまでイラン情勢の緊張が続く中で集中的に買われてきたAI・半導体関連株から、ヘルスケア、不動産、公共事業、生活必需品など出遅れ感のある業種・銘柄への資金シフトが見られました

MSCI 世界株価指数(先進国・現地通貨建て) 業種別騰落率

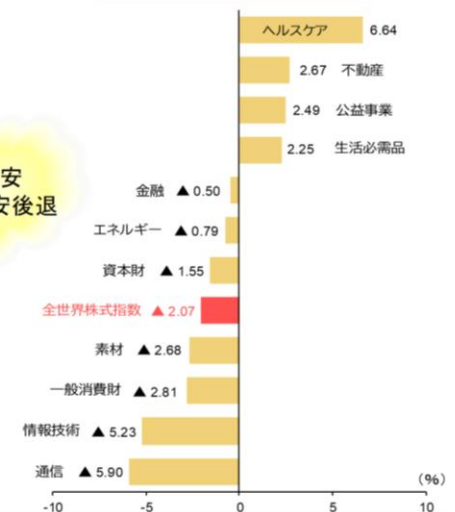
2026年3月1日～6月19日

原油高
景気不安



6月22日～6月26日

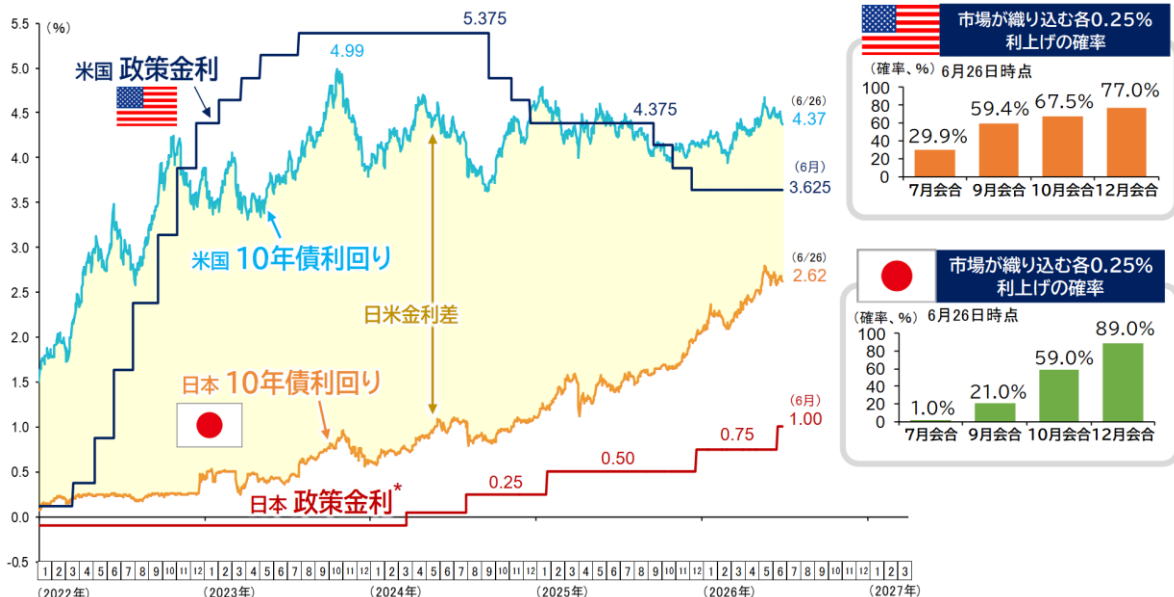
原油安
景気不安後退



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

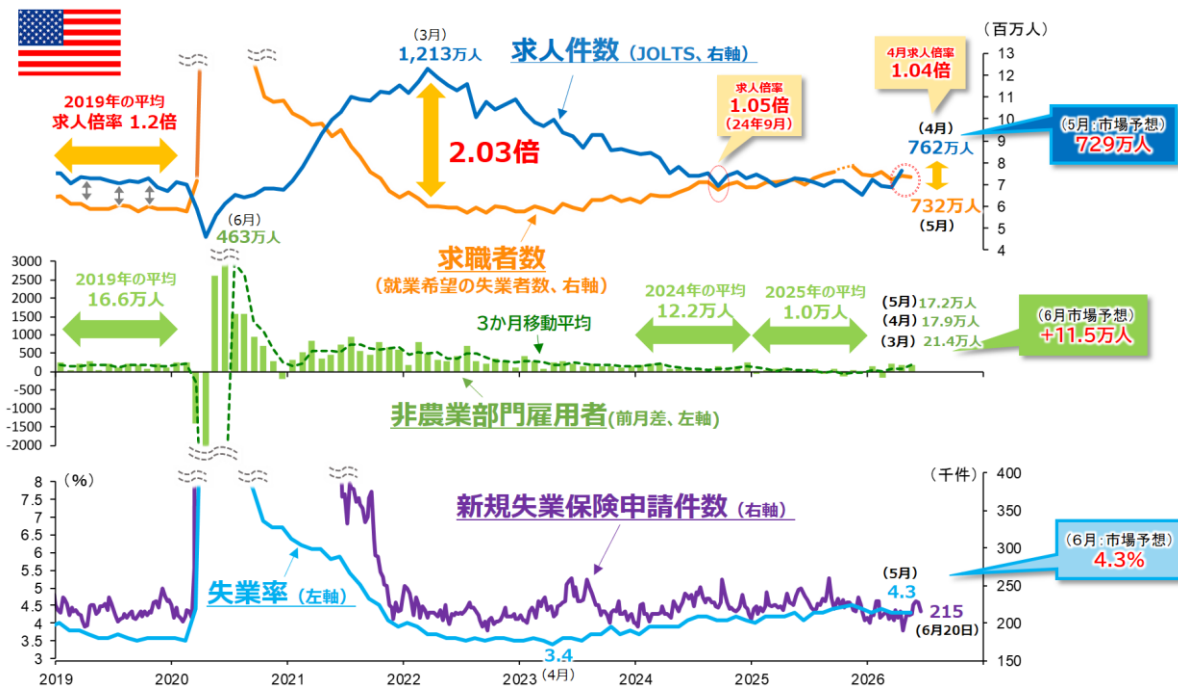
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

市場が織り込むFRBの0.25% (→3.875%) 利上げの確率は、9月FOMCが59%、12月FOMCは同77%です。日銀の追加利上げ (→1.25%) は、9月会合が21%、12月会合89%と、日米ともに年内1回の利上げが有力視されています



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

2日(木)に6月雇用統計が発表されます。過去3ヵ月、非農業部門雇用者が20万人前後の高い伸びとなり雇用悪化懸念の後退に繋がりました。今週発表の6月分で、雇用市場の堅調さが持続するか注目が集まります



【出所】BLS、Haver Analyticsの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年7月6日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。